

# まほるば



## 病院の理念

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第69号

2007年3月発行

## 【コラム】“大丈夫”と言ってほしい、“大丈夫”と言いたい！

患者様にとって、医師に「大丈夫でしょうか？」と聞いて、医師から「大丈夫です。」と応えてもらえれば、こんなに嬉しいことはありません。逆に医師から「多分大丈夫でしょうが、保証はできません。」と言われたら患者様は不安になるでしょう。しかし、「大丈夫です。」は、医師にとっては極めて責任の重い言葉なのです。医師は、大丈夫にするために努力をしています。

それでは、患者様と医師との信頼関係を保つ意味から、この溝を埋めるにはどうしたら良いでしょうか。それは、患者様と医師がお互いにしっかりと目を合わせて、お互いの心の内を語り合うことだと思えます。

例えば、患者様からは、「日常生活でどのようなことに気を付けたら良いですか？」とか、医師からは、「ご心配でしたら、また受診して下さい。」というように会話が進めば安心感も得られるのではないのでしょうか。

ちなみに“大丈夫”とは、国語辞典によると、大いに壮健なこと、危なげがないこと、確かなこととあります。



院長 五十嵐勝朗

## 今年もチャレンジします！（母子医療センター）



母子医療センターでは、「わたしたちは、親子の絆を深め、心豊かなひとを育むため、母乳育児を支援します」という母乳育児の理念を掲げて、平成14年より“赤ちゃんにやさしい病院”：Baby Friendly Hospital (BFH) に本格的に取り組んでいます。

昨年、当院では、日本母乳の会によるBFH認定推薦の審査を受けました。結果は残念なことに見送りととなりましたが、今年5月27日（日）に再度挑戦します。前回の審査では、私たちは勿論、当院を受診しているお父さんやお母さんにもインタビューがあり、母乳育児への思いやスタッフの支援のあり方についてお話しするなど協力していただき、緊張の中にも和やかな一

時を過ごしました。今年もどうぞご協力をお願いします。

私たちは、お母さん方のご意見に心を寄せながら支援していますが、最近もあるお母さんから“「おっぱいを飲んで安心して眠ってくれる我が子を見ると、気持ちが癒され、また頑張ろうという気持ちになります」、「おっぱいを飲むことは赤ちゃんの幸せ、赤ちゃんの幸せはお母さんの幸せなんです」といった声が聞かれ、私たちまで幸せな気持ちになりました。

「今、何故おっぱいか？」と言いますと、母と子の信頼関係を築き、人間を信頼する基盤を作り上げるためには、育児の原点であるおっぱいを見直して行くことが重要だと考えているからです。「母乳育児成功の10か条」に基づき、家族の幸福を願い、母乳育児の更なる発展に向けて、病棟だけではなく、病院全体で取り組んでいきますのでよろしくお願い致します。

母子医療センター 助産師 古川 妙子  
助産師 田澤 咲子

## 手作りの温もり —— 「雛こけし」・「雛こま」 ——

3月、女の子の節句「ひな祭り」と言えば、まず雛人形を思い浮かべますが、「雛こけし」・「雛こま」はご存じでしょうか？

これは、伝統工芸品である弘前こけしと、木地玩具である独楽を、それぞれ雛人形に見立てた作品です。

東北地方特有の11系統に分類される伝統こけしのうち、弘前こけしは、津軽系に属し、その中でも大鰐系の比較的出自の新しいものになるようです。また、「ずぐり」と呼ばれる津軽独楽は、こけしとともに盛んに作られて来た木地玩具の一つです。

県指定伝統工芸士 長谷川健三氏作の「雛こけし」・「雛こま」は、その表情の上品さや、木地玩具特有の

暖かさから毎年人気があります。（※雛こまのぼんぼりや傘は、取り外して実際に独楽として回すことができます。）

豪華な段飾りの雛人形は勿論ですが、こんな心のほっと暖かくなるお雛様もとても素敵です。

当院母子医療センターにも、毎年雛人形がお目見えします。こちらの雅なお顔立ちも是非一度ご覧下さい。

庶務係 工藤 真淑



## 【市民講座】虚血性心疾患について

厚生労働省の報告によると、平成17年の日本人の総死亡数は108万4,012人でした。死亡原因の第1位が悪性新生物で30.1%、第2位が心疾患（心臓病）で16.0%、第3位が脳血管疾患（脳卒中）で12.3%でした。この3疾患で約6割の方が亡くなっています。

心疾患の内訳を見てみると、約44%が虚血性心疾患で、約33%が心不全で亡くなっています。心疾患の死亡原因の4割以上を占める虚血性心疾患とはどんな病気でしょうか？

皆さんもご存じのとおり狭心症と心筋梗塞を合わせて虚血性心疾患と言っています。これは、心臓の筋肉を栄養している動脈（冠状動脈）が細くなったり、つまったりして起こる病気です。

狭心症は、冠状動脈が動脈硬化などを原因として細くなったり（器質的狭窄）、または突然痙攣したりして（スパズム）心臓の筋肉が必要とする十分な血液量を供給できなくなった時に胸痛を生じる病気です。このとき、心臓の筋肉は苦しむだけで死んだりしません。

心筋梗塞は、冠状動脈が突然閉塞してしまい、心臓の筋肉への血液供給が途絶え、筋肉が死んでしまう（壊死）ことです。狭心症は適切な診断と治療で治すことは可能ですが、心筋梗塞は一度発症してしまう



と元の状態に戻ることはなく、早急に治療をしなければ命に関わる恐ろしい病気です。

虚血性心疾患の一番の原因は、冠状動脈の動脈硬化です。動脈硬化とは、動脈の内壁に変性したコレステロールや炎症性細胞などが蓄積し、粥腫（じゅくしゅ）という塊を形成することです。これが大きくなって血管内腔を狭めてしまうのです。

年をとれば誰でも動脈硬化が進行します。これ自体は今の医学でも防ぐことはできません。ただ動脈硬化の進行を加速させる因子が分かっています。それは、**高血圧や喫煙、糖尿病、高脂血症、肥満、ストレス**などです。これらのものはある程度自分でもコントロールできるものです。

最も寿命の長い国のひとつである日本は加速的に高齢化社会が進んでいます。また、食生活の欧米化で肥満や糖尿病、高脂血症などが増加し、動脈硬化性疾患である虚血性心疾患は増え続けているのです。皆さんが漠然と悪いだらうと思っている上記因子をしっかりとコントロールすることで虚血性心疾患の発症が減ることは医学的に証明されています。

心当たりのある方は気軽に医療機関を受診し、相談してみることをお勧めします。

内科医長 人見 博康



※この記事の内容は、去る2月28日（水）に当院で開催した「市民講座」の内容です。  
市民講座は、毎月開催しており、誰でも参加できます。

## 栄養サポートチーム（NST）が全病棟で活動開始！

当院では、4月から「栄養サポートチーム」（NST）の活動を全病棟で開始します。

具体的な活動を説明しますと、①入院時に看護師が患者様から、食べれる量や体重の増減、生活状況などを聞きます。②検査データと患者様から聞き取りした内容を基に栄養摂取量を決定します。③主治医が患者様の全身状態を判断し、各科毎のプランの策定と評価をNSTに依頼します。（※NSTのメンバーは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、理学療法士、言語聴覚士です。）④NSTのメンバーは、毎

週火曜日に患者様のベッドサイドに行きます。そこでお話を聞いて、栄養状態の検討と評価を行います。⑤NSTの医師が



評価した内容を主治医に提言します。——といったように各職域でパス回しの早い組織プレーを身上としています。

また、この4月から全科対応での本稼働ということで、去る2月7日（水）に院内一斉スクリーニングを試行しました。254名の患者様に実施した結果、約25%の患者様が中度・重度栄養状態不良ということでした。

今後は、NSTの活動により、更なる栄養状態の改善に期待できます。

栄養管理室長 篠島 良介

# 外来診療一覽

## ◆外来医師診療一覽表 (2007年3月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金
総合診療外来	午前	/	/	大串和久	/	/
内科		人見博康	小沢一浩	人見博康	小沢一浩	小沢一浩
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器科		佐藤年信 中畑元	佐藤年信 中畑元	佐藤年信 中畑元	中畑元 (藤田均)	佐藤年信 中畑元
小児科		杉本和彦 佐藤啓	野村由美子 大谷勝記	杉本和彦 佐藤啓	大谷勝記 野村由美子	野村由美子 杉本和彦
外科		山中祐治 坂本義之	高橋克郎 三上勝也	横山昌樹 山中祐治	横山昌樹 高橋克郎	三上勝也 坂本義之
整形外科	午前	柿崎寛 田中涼 上里大子	柿崎寛 工藤整	柳澤道朗 田中大	柳澤道朗 又は 田中大哉 奈良岡琢	柿崎寛 柳澤道朗
	午後	/	/	/	/	柿崎寛
脳神経外科		/	/	木村正英	/	/
皮膚科	午前	鳴海博美 熊野高行	熊野高行 鳴海博美	鳴海博美	鳴海博美 熊野高行	熊野高行 鳴海博美
	午後	/	●手術	鳴海博美 (予約のみ)	●手術	熊野高行
泌尿器科		橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘	橋本安弘
産婦人科		真鍋麻美 工藤香里	佐藤春夫 工藤香里	真鍋麻美 工藤香里	●妊婦健診	佐藤春夫 真鍋麻美
眼科		蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義
耳鼻咽喉科		黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央	●手術	黒田令子 阿部尚央	黒田令子 阿部尚央
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	/	阿部由直 (午後)	/	/	/
麻酔科		●手術	工藤明	●手術	工藤明	●手術

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

## 【シリーズ】臨床検査のABC⑤ 尿検査について

前回はおしっこのおいについてでしたが、観察してみましたか？

今回は、＜尿検査＞について詳しく説明します。

### ◆何故おしっこの検査をするの？

おしっこが作られる腎臓は、血液をろ過していらぬ物を体の外に出したり、必要な物をもう一度吸収したりする働きがあります。そこで作られるおしっこの検査をすることで、異常を発見することができるのです。

また、繰り返し検査することで、病態の変化や予後の推定、治療法の選択などを知る重要な検査なのです。

### ◆どんな病気がわかるの？

腎臓や膀胱、尿管（腎臓と膀胱をつなぐ管）、尿道（膀胱から先の管）といった尿路系の病気、肝臓・心臓・内分泌・代謝疾患などの病気も知ることができます。

また、ホルモンバランスが崩れることによって起こ

る病気や、体内に腫瘍ができたこと、ストレスによる病気の一部などがわかります。もう一つ、胃に潜むピロリ菌の存在の有無もわかりますよ！

### ◆そのほかには？

赤ちゃんができたかな？も、おしっこの成分でわかります。

★ 次回は、実際に尿検査でチェックする10項目についてご説明します。

一般検査担当技師 間山 陽子  
川嶋亜矢子



## 【職場紹介】 東2病棟

東2病棟は、整形外科の病棟です。整形外科部長の柿崎先生を中心とした医師3名と、看護師長をはじめとした看護師18名、看護助手3名のスタッフで成り立っています。膝や股関節などの人工関節の手術をはじめ、骨折や腰部ヘルニア・腫瘍などの様々な手術を目的とした急性期から、手術後のリハビリを含めた回復期の患者様を対象としており、小学生から90歳までたくさんの方々が入院生活を送っています。

骨・関節等の疾患で運動機能の障害を受けた患者様に対し、安心して手術が受けられるよう、苦痛の緩和や合併症の予防などを図り、医師・理学療法士などと連携をとりながら退院に向けて回復過程が最短になるように看護しています。手術後、患者様のリハビリが

どんどん進み、元気になって行く姿を見ることは、私たちにとってとても嬉しく、やりがいを感じます。

入退院が多く忙しい毎日ですが、患者様の笑顔と「ありがとう。」の言葉に励まされながら、明るく元気に笑顔を絶やさず患者様の生活過程を快適に整え、生命力を最大に発揮できるよう手助けすることが私たちの使命ととらえ、スタッフ一同頑張っています。

看護師長 佐々木奈美子



## 52回生 卒業式を終えて

### —— 附属看護学校 ——



3月6日（火）、看護学校体育館において52回生48名の卒業式が行われました。

来賓の方や両親に見守られる中、学校長より一人ひとりに卒業証書が手渡され、最後は“旅立ちの日に♪”を卒業生で合唱し無事に卒業式を終了することができました。看護学校での3年間を振り返ってか、合唱の時には涙ぐみ歌うことができない学生もおり、それぞれに思い出深い卒業式でした。

卒業後は、就職・進学とそれぞれ違う道を歩んで行くこととなります。看護学校で学んだ3年間の基盤として、自分らしさを発揮して頑張してほしいと思います。

なお、当院には10名の卒業生が就職します。これからもよろしくお祈りします。

教員 丹内留美子

## 【ふるさと紹介】 新潟市大野町

私はこの町に18歳まで過ごしました。その頃は、この地名は“新潟県西蒲原郡黒埼村大野”と言いました。その後、“黒埼町大野”となり、一昨年、新潟市に合併しました。この我がふるさとに母親が今も一人暮らしをしているので、盆と正月に私はきまって帰省します。たまに小学校時代の恩師や友人と会ったりして、私は一時少年に戻ります。

町の中心部には、通り一本のささやかな商店街があります。雁木などがあり、少し風情もありますが、今は悲しい位に寂れています。そしてこの町の周囲には

一面、田んぼが広がります。ここはコシヒカリの産地です。川が流れ、田んぼがあって、遠くに小高い山が見えます。まさに穏やかな日本の原風景です。しかし、それ以外は何もありません。このような所からは、やはり平凡な人間が育つようです。それが自慢と言えば自慢です。



臨床研究部長 泉井 亮

## 【今月の川柳】

★【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

やわらかな 春のひざしは バスタオル

春のいろ 水仙みたい 黄色かな

いたい膝 治りて仕事に 夢がある (H. t)

※ 掲載した作品は、広報誌編集委員会で選出したものです。